

平成15年2月20日

環境大臣懇談会発表要旨

㈱東北エコシステムズ
代表取締役 八端憲明

(1) 「環境と経済との関係」について

- ① 企業では、「環境経営」を心がけなければ、消費者や投資家からも相手にされなくなる時代になってきました。
各自治体においても目標数値を定め、「環境経営の考え方」の導入を促進すべきものと考えます。
- ② 「バイオマス・ニッポン総合戦略」は、CO₂の削減と循環型社会構築のため、再生可能エネルギーの利用促進を是非進めるべきです。
- ③ 使用済み天ぷら油の再生燃料を使用した観光ジャンボタクシー「秋田エアポートライナー」が運行開始しました。
- ④ ゼロ・エミッション社会は、循環型産業の成長なくして達成は出来ません。

(2) 私どものBDF事業の概要を通して

- ① 平成12年8月「秋田県ベンチャービジネススタートアップ支援事業の採択」を受け、会社を立ち上げました。
- ② 平成14年6月、2号プラントが完成により量産化体制へ。
- ③ 屋久島の「地球温暖化防止検証事業」のミニプラントがモデルとなっています。
- ④ 産学共同事業で、各大学の指導を受けて進めています。
- ⑤ 循環型社会システム構築のポイントは、廃油を回収する社会システムにあります。
- ⑥ BDFの利用について
陸運事務所への車検証記載変更届は、只今約400台。
- ⑦ BDF事業のねらいは
(ア) 化石燃料に代替する新エネルギーである。
(イ) 廃食用油のリサイクルである。
(ウ) バイオマス燃料であるため、地球温暖化防止に直結する。(カーボンニュートラル)
(エ) 資源循環型社会実現のモデルとなりうる。

(3) 具体的提言

秋田県庁（県内自治体は8ヶ所ほど）、山形県庁、岩手県の盛岡市が、本年4月以降導入予定。

国がBDFを活用して、「県単位での資源循環型社会のモデル事業」とし、地域指定をしてはどうでしょうか？

(4) 提言を実現するために

- ① プラントに対する補助策。
- ② ハード・ソフト面の研究開発の支援。
- ③ エコ事業者に対する金融面での制度充実。
- ④ 自動車メーカーのBDFへの対応。
- ⑤ EU並みに軽油引取税の全面的非課税化。
- ⑥ BDFで公道を走るための陸運事務所での記載変更手続の撤廃。
- ⑦ 環境性の高い国産エネルギーの使用促進。

例) 農家がバイオマス燃料を利用した場合、補助金を支給。

現在3割減反中の耕作放棄地に作物を作付けすれば、田んぼがエネルギー基地となります。

また、CO₂削減にも大きな力を発揮します。

会 社 案 内

会社概要

- 【商 号】 株式会社 東北エコシステムズ
- 【所 在 地】 ●本 社 秋田市山王5丁目7番9号
TEL 018-866-6236 FAX 018-866-9314
●秋田工場 秋田市飯島字穀丁大谷地1-29
TEL 018-880-5666 FAX 018-880-5667
- 【設 立】 2000年8月22日
- 【資 本 金】 4,100万円
- 【決 算 月】 6月
- 【役 員】 代表取締役 八端憲明
取締役 小畑 悟 田上昌賢 小野勇男
監査役 岸部章一
技術顧問 山本治郎 (株)アリガ
- 【株 主】 八端憲明
(株)友愛ビルサービス
(株)アリガ
(株)イサオサイン
赤坂栄紀
八端正紀
- 【取引先銀行】 秋田銀行本店
- 【加盟団体】 (社)秋田県経営者協会
(社)秋田県産業廃棄物協会
- 【許 認 可 等】 ○産業廃棄物処分業 (秋田市—許可番号 8620079832)
○産業廃棄物収集運搬業 (秋田市—許可番号 8600079832)
○産業廃棄物収集運搬業 (秋田県—許可番号 0504079832)

受賞関係等

- 平成12年度秋田県ベンチャービジネススタートアップ支援事業採択
- かながわビジネスオーディション2000 神奈川県技術士会賞受賞
- 平成13年5月 (財)秋田経済研究所 中小企業振興表彰「新起事業激励賞」受賞

主要営業品目

- B D F (植物性廃食用油からの軽油代替燃料) の製造及び販売
- B D Fプラントシステム一式の外販
- B D Fプラントの運営受託

ホームページ

<http://www.touhoku-eco.co.jp>